



2024
No.397 4 月号

News

全国整備工場の皆様へ
NGP 組合員 200 拠点がお届けする
お役立ち情報

2024年4月19日発行
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス
■発行/(株)NGP 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F TEL03(6705)1212

自動車リユース部品を利用した脱炭素の取り組みが評価される

NGP 協同組合、「NIKKEI 脱炭素アワード 2023」にて「奨励賞」を受賞

NGP協同組合は、日本経済新聞社が主催する「NIKKEI脱炭素アワード2023」プロジェクト部門において、「自動車リユース部品でカーボンニュートラルに貢献～CO₂削減効果の定量化と普及・啓発活動～」というテーマで「奨励賞」を受賞しました。

同様の活動・テーマでは、2022年12月の「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」、2021年11月の「第22回グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」、同年12月に「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」などを受賞しており、今回で9度目の受賞となります。

3月1日に日経ホール（東京都千代田区）で開催された贈賞式には、小林信夫理事長の代理として谷洋紀事務局長が出席し、NGPの活動内容についてスライドを用いながらプレゼンテーションを行いました。

受賞内容

<受賞活動>

「自動車リユース部品でカーボンニュートラルに貢献～CO₂削減効果の定量化と普及・啓発活動～」

<審査委員評価>

この取り組みは、今まさに注目をされている資源循環や、循環経済を促進していく中で、気候変動への対応や温室効果ガス排出削減の取り組みを進めていくもので、それをしっかりと定量化して見える化している取り組みは、なかなかのものではないかと思えます。

<NIKKEI脱炭素アワードについて>

「NIKKEI脱炭素アワード」は、脱炭素社

会の実現に向けて意欲的に取り組む企業、自治体、NPO・NGO、団体、個人の取り組み（プロジェクト、技術開発、研究、政策提言など）を表彰することで、それらの取り組みの支援を行うことを目的とした表彰制度。

受賞活動の概要

NGPでは、「自動車リユース部品」が環境にやさしいことの根拠を定量的に示すことで、リユース部品の付加価値を高めて、利用するユーザーの環境貢献意識を向上させ、地球環境保護に貢献したいという思いから、富山県立大学工学部機械システム工学科・森孝男名誉教授（富山県射水市）、明治大学理工学部機械情報工学科・井上全人教授（生田キャンパス：神奈川県川崎市）と2013年5月より「自動車リサイクル部品産学共同研究会」（座長：富山県立大学名誉教授、NGP技術顧問・森孝男氏）を立ち上げ、自動車リユース部品を活用した場合のCO₂削減効果値算出についての産学共同研究を開始しました。

LCA^{*1}の計算ソフトを使用してCO₂削減効果の定量化に成功し、2016年4月に記者会見を行ってそれまでの研究成果を公表しました。併せてNGPシステム^{*2}に搭載し、見積書、請求書にCO₂削減量を明記することで、ユーザーへの見える化を実現しました。また同時に専用Webサイト「NGPエコプロジェクト」（<https://www.nepp.jp>）を開設し、同サイト上で研究成果を公開しています。

今後について

産学共同研究については、SDGsの目標達成とカーボンニュートラルの実現に寄与すべく、部品の調査対象をさらに増やし、NGPの販売する自動車リユース部品すべてのCO₂削減効果が算出できるように継続していきます。また、自動車のライフサイクル全体のLCA評価方法の確立が不可欠であることから、部品だけでなく、製造から廃棄に至るまでのLCAの研究に拡大していく方針です。

今後もリユース部品の利用拡大を促進することでカーボンニュートラルに大きく貢献するとともに、研究成果を活用した教育支援や豊島の環境保全・再生に取り組むことで、自動車リサイクルを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

*1：LCA（ライフサイクルアセスメント）とは、部品を生産する時に発生するCO₂だけではなく、部品を作るための資源採掘から、原料生産、部品生産、使用、処理までのライフサイクル（生涯）でアセスメント（評価）する手法。

*2：NGPシステムとは、NGPが運営する、自動車リユース部品在庫共有システムのことです。NGP組合員160拠点のリユース部品を、登録、検索、閲覧、注文することが可能。



谷洋紀事務局長によるプレゼンテーション

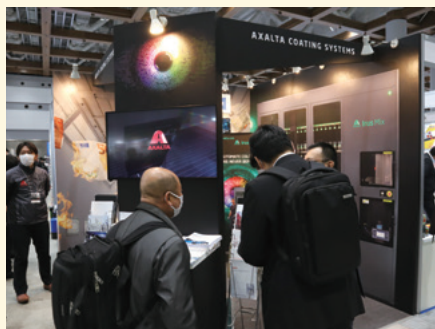
業界の課題解決を支援する 各種製品・サービスを提案

カーアフターマーケットの活性化を目的とする第21回国際オートアフターマーケットEXPO2024が、3月5～7日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

展示会場では、出展各社が钣金塗装、車検・点検整備などに携わる事業者及び技術

者に向けて、最新機器やサービスを紹介しました。セミナー会場では、国土交通省や経済産業省をはじめとした官公庁や業界団体、関連企業から講師を招き、講演や討論会を展開しています。展示会場の一角には、塗料メーカー各社による塗装実演コーナーや、OBD検査への対応を目的とした検査

用スキャンツールの実演コーナーも設けられ、注目を集めました。3日間合計の来場者数は延べ40,320人に上っています。



アクサルタコーティングシステムズ

年内導入予定の全自動調合機「アクサルタ アイラスミックス」などを紹介。実演では湿気によって硬化が促進されるエナジーセービングシステムや、フル水性システムの塗装が行われた



アルティア (SmartSafe)

ADASキャリブレーション機器などを展開するSmartSafe社の代理店としてタッチレスアライメントテスターを参考出品。各読み取り部はマグネットでリフト横に取り付け・持ち運びが可能



安全自動車

検査用スキャンツール「スマートOBD」、レーザー光によって錆などを除去するレーザークリーナーの他、タッチレスホイールアライメントテスター「ARGOS」をメイン展示した



イサム塗料

水性ベースコート「CRONOS HD」と有機則に対応した「イサム有機則フリーシステム」の実演や、調色管理測色システム「彩選短スマート」、特殊ウレタン樹脂塗料「ベッドライナービースト」などをPR



ウィンカー・ジャパン

イタリアの保険協定時に採用される、損保会社・車体整備組合・ウィンカーの3社が合意作成した作業指数を搭載した、輸入車向け钣金塗装見積りソフト「ウィンカー」をアピール



関西ペイント

オール水性システム「レタンWBエコEVシステム3.0」による法規制対応、今年2月にバージョンアップしたコンピューター調色システム「AIカラーシステム」による生産性改善を提案



日本ペイント

「BEYOND NOW」をコンセプトとして、「naxE-CUBE WB水性システム」などの活用による钣金塗装業界の課題解決を提案。実演ではオール水性システムで、トヨタ8V3をブロック塗装した



リトロス・セラミックス

DPFのリフレッシュ・リビルトサービスを紹介。水と圧縮空気を併用した同社独自の洗浄方法による高い洗浄効果や、リフレッシュ後の検査結果を報告するレポートの発行サービスなどを訴求



ロックペイント

水性製品による「オール水性化塗装システム」を紹介・実演。展示ブースでは新製品の環境対応型光硬化パテ「ロックライトキュアパテ」及び「同樹脂パーツプライマー」などを披露した

NGP、JICA 国別研修「インド中級経営幹部研修」参加者に対し、自動車リサイクル工場見学会を実施

インドの製造業を担う幹部候補生に対し、日本の自動車リサイクル技術を発信

NGP協同組合は3月15日、JICA国別研修「インド中級経営幹部 (PGPEX-VLM) 研修」の参加者であるインド工科大学・経営大学院 中級経営幹部コース (PGPEX-VLM) 大学院生42名 (引率教授2名を含む) に対する自動車リサイクル工場見学会を、組合員会社の(株)マーク・コーポレーション (三重県鈴鹿市) において実施しました。

「インド中級経営幹部 (PGPEX-VLM) 研修」は、2006年の日印首脳会談で合意された国家プロジェクト"Special Economic Partnership Initiative"の1つとして、独立行政法人国際協力機構 (JICA) が2007年8月から開始した「製造業経営幹部育成支援 (Visionary Leaders for Manufacturing : VLFM) プロジェクト」の下、産官学の連携により中級・上級経営幹部育成を目的として実施されてきた研修のうちの1つを前身としたものです。2019年度まで継続実施されてきた同研修がコロナ禍による中断を経て、2022年度より後継プログラムとなる「中級経営幹部コース (PGPEX-VLM)」として開始されました。なお、同研修は実施主体となるインド工科大学・経営大学院及びJICAの依頼を受けて、一般財団法人日本国際協力センター (JICE) が実施しています。

同研修は、急激に経済成長が進んでいるインドにおいて、環境と人々に配慮した産業振興を目指すとともに、将来的に持続可能な社会の構築に寄与できるリーダー人材の育成を目的としたものです。このほど、研修の参加者であるインドの製造業幹部候補生が、日本の自動車業界におけるリサイクル事業及び市場について関心があることから、JICEを通じて依頼があり、工場見学及び意見交換会を実施することとなりました。

工場見学会では、SDGs及び5S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ) への取り組みや海外展開の展望などを交えながら、(株)マーク・コーポレーションの事業概要を説明した後、実際に自動車リサイクル工程とショールームを見学し、最後に意見交換を行いました。

参加者からは、「日本ではどのような車

が解体されているのか?」、「プレス機で車体をサイコロ状にしていたが、その後はどうなるのか?」、「精緻な解体を行っていたが、プレスする際になぜ全てのゴミを取り除かないのか?」など多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。



動画で事業概要を学ぶインドの製造業幹部候補生



使用済み自動車の解体工程を見学



ワイヤーハーネスのリサイクルについて説明を受ける



車体がプレス機で圧縮される工程を見学



質疑応答で手を挙げる参加者



質問に答える(株)マーク・コーポレーション松原佳代常務取締役

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和6年2月:

1,832t



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和6年2月:

0.5t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目 (左右ある部品を含む) 115品目を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

幅広い顧客層へ、CO₂削減効果が期待できる自動車リユース部品の利用を促進

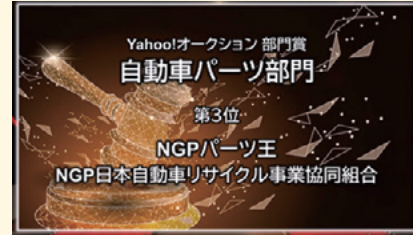
NGP パーツ王、ヤフオク!ベストアワードを2年連続で受賞

NGP協同組合は、ヤフー(株)が運営する日本最大級のインターネットオークションサービス「Yahoo!オークション」において3月7日に開催した「ヤフオク!ベストアワード2023」で、「NGPパーツ王 ヤフオク!店」として「自動車パーツ部門賞」を受賞しました。これは昨年の「急上昇ストア賞」に続いて、2年連続の受賞となります。

「ヤフオク!ベストアワード」は、ヤフオク!の約20,000のストアの中から、お

客様からの評価や売り上げなどを指標に、優秀な成績を収めたストアに贈られる賞です。

NGPパーツ王は、幅広いお客様を対象として販売機会を創出することで、使用によってCO₂削減効果が期待できる自動車リユース部品の利用を促進し、SDGs、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに貢献することを目的に、2022年6月より自動車リユース部品のヤフオクへの公開を開始しています。



今後ともお客様にご満足いただける商品を出品してまいりますので、「NGPパーツ王 ヤフオク!店」を、よろしく願います。

令和6年能登半島地震により被災した組合員へ、お見舞い金を贈呈

NGP協同組合は、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、被災した北陸地方の組合員4社に対し、災害お見舞い金を贈呈しました。

被災した組合員は、工場内の床が隆起、建屋が一部崩れるなど、被害が甚大でした。お見舞い金は、NGP協組 小林信夫理事長から、北陸支部担当 堀川健志理事

事に手渡されました。

小林理事長は、「被災地の一日も早い復旧を祈念するとともに、現地及び被災した組合員への支援を惜しみません」と、今後も被災地復興に向けた支援を続けていく姿勢を示しました。



小林信夫理事長(左)と北陸支部担当・堀川健志理事

日本赤十字社を通じて、令和6年能登半島地震災害義援金を寄付

NGP協同組合は、令和6年能登半島地震の被害の甚大さに鑑み、被災された皆様の救済及び被災地の復旧に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて、

令和6年能登半島地震災害義援金(石川県、富山県、新潟県、福井県)として100万円を寄付させていただきました。被災地の一日も早い復興を心からお祈

り申し上げるとともに、今後も被災地の復旧に役立てるよう、必要な支援を継続してまいります。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
南関東	株式会社コーエイ	移転	〒435-0016 静岡県浜松市中央区和田町874-1	2024年3月23日
北陸	株式会社ナカスジオオートパーツ	会社代表	代表取締役 徳原 貴衛	2024年3月7日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F
TEL:03-6705-1208 FAX:03-6705-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F
TEL:03-6705-1212 FAX:03-6705-1201
<https://www.ngp.co.jp/>